

1. 銀行業の分析

	著書・論文名等	共著者等	出版社・発表誌等	発行年
41	信用金庫再編後の経営改善効果 ―合併効果の推計―	北村仁代	TCER Working Paper No.14	2016年
40	信用金庫統廃合の財務分析	北村仁代	企業研究	2016年
39	Japan's Financial Regulatory Responses to the Global Financial Crisis'	共著者多数、編者 James R Barth and George G Kaufman	<i>The First Great Financial Crisis of the 21st Century: A Retrospective</i> World Scientific Publishing	2015年
38	国際金融規制とワインの規制	単著	『証券アナリストジャーナル』 2016年1月号	2016年
37	'Japan's Financial Regulatory Responses to the Global Financial Crisis'	Takeo Hoshi 氏, Masami Imai 氏, Ayako Yasuda 氏, Satoshi Koibuchi 氏と共著	<i>Journal of Financial Economic Policy</i>	2015年
36	世界金融危機と日本経済	鯉渕賢氏、櫻川昌哉氏、星岳雄氏、細野薫氏と共著	『金融経済研究』	2014年
35	金融規制の新展開―金融危機後のグローバルな金融規制改革の実体経済・金融市場への影響分析	全国銀行協会としての政策提言に 関与	全国銀行協会金融調査部 冊子	2014年
34	預金減少、利ザヤ縮小で残された地銀の生き残り戦略	単著	『業界大予測』	2014年
33	"Misdiagnosis of Crisis has led to Botched Liquidity Regulation"	Six Shadow Financial Regulatory Committees による政策提言に関与	ウェブ公開	2013年
32	"Is the Distance to Default a Good Measure in Predicting Bank Failures? A case Study of Japanese Major Banks"	伊藤隆敏氏、高橋修平氏と共著	<i>Japan and the World Economy</i>	2013年
31	"Mega-Mergers' Economic Reasons and Performances: Lessons from Japan".	単著	<i>Mimeo.</i>	2012年
30	「金融円滑化法」という先送り政策からの出口戦略	鯉渕賢氏との共著	『月刊金融ジャーナル』2012年5月	2012年
29	Did Mergers Help Japanese Mega-banks Avoid from Failure? Analysis of the Distance to Default	伊藤隆敏氏と共著	<i>Journal of the Japanese and International Economies</i>	2011年

28	Is the Distance to Default a Good Measure in Predicting Bank Failures? Case Studies	伊藤隆敏氏、高橋修平氏と共著	<i>NBER Working Paper Series forthcoming, National Bureau of Economic Research</i>	2010年
27	過剰な公的支援はかえって貸出を萎縮させる - 成長企業育成のための金融システムの構築が急務	鯉淵賢氏と共著	『週刊金融財政事情』1月18日号	2010年
26	問題多い中小企業円滑化法案 - 新規融資 一段と委縮も 本筋は企業収益向上 政府保証の拡大は慎重に	星岳雄氏、櫻川昌哉氏他5名と共著	11月13日「経済教室」日本経済新聞	2009年
25	距離で測る信用リスク	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.47, No.7	2009年
24	再編地銀のその後	単著	『週刊 金融財政事情』8.10	2009年
23	地方銀行の統合効果の検証---イベント・スタディと財務分析--	富岡達雄氏、中山喜隆氏と共著	『CGSA フォーラム』Vol.7	2009年
22	金融機関再編の効果測定指標『倒産距離』活用が有効	単著	日本経済新聞 経済教室	2008年
21	Mega-Mergers in Japan: Economic Reasons and Performances	伊藤隆敏氏と共著	Mimeo.	2008年
20	セブン銀行、イオン銀行 2行の可能性を読む	単著	『販売革新』商業界	2008年
19	Macroeconomic Implications of the New Basel Accord for Japan: Strengthened Soundness by the New Accord	共著者多数	著書 Adopting the New Basel Accordの1章 Korea Development Institute	2006年
18	Bank Fragility in Japan, 1995 to 2003	伊藤隆敏氏と共著	著書 Japan's Great Stagnation Financial and Monetary Policy Lessons for Advanced Economiesの第2章, p.33-60. MIT Press	2006年
17	Japan Premium and Stock Prices: Two Mirrors of Japanese Banking Crises	伊藤隆敏氏と共著	<i>International Journal of Finance & Economics</i> , Vol.10(3), Wiley	2005年
16	Rebuilding the Indonesian Banking Sector-Economic Analysis of Bank Consolidation and Efficiency	伊藤隆敏氏と共著	<i>JBICI Review</i> Vol.12, p32-59. JBIC Institute Japan Bank for International cooperation	2005年
15	インドネシアの銀行再建 銀行統合と効率性の分析	伊藤隆敏氏と共著	『開発金融研究所報』Vol.25, p137-166. 国際協力銀行	2005年
14	Did Efficiency Improve? Mega-mergers in the Japanese Banking Sector	単著	<i>KIEP working paper Series</i> , The Korea Institute for International Economic Policy	2005年
13	Measuring the Efficiency of Banks: Successful Mergers in the Korean Banking Sector	単著	<i>KIEP working paper Series</i> , The Korea Institute for International Economic Policy	2005年

12	Credit Derivatives Premium as a New Japan Premium	伊藤隆敏氏と共著	<i>Journal of Money, Credit and Banking</i> , Vol.36(5)	2004年
11	The New Basel Capital Accord and Its Impact on Japanese Banking: A Qualitative Analysis	Adrian van Rixtel 氏, Ioana Alexopoulou 氏と共著	著書 The New Basel Capital Accord, の第16章 p371-442.	2004年
10	都市銀行の統合と効率性	単著	『証券アナリストジャーナル』 Vol.42, No.3	2004年
9	Market Evaluations of Banking Fragility in Japan: Japan Premium, Stock Prices and Credit Derivatives	伊藤隆敏氏と共著	<i>NBER Working Paper Series</i> No.9589, National Bureau of Economic Research	2003年
8	『日本の金融問題：検証から解決へ』	共著者多数	郵政研究所研究叢書 日本評論社	2003年
7	金融機関の統合は効率性を高めるか	単著	『月刊 金融ジャーナル』	2003年
6	金融システム不安に対する預金者の反応	単著	大東文化大学経済研究所 Working Paper No.24	2002年
5	株主と債権者からみた公的資金投入の効果	単著	大東文化大学経済研究所 Working Paper No.23	2002年
4	ジャパン・プレミアムと株価による銀行危機の分析	伊藤隆敏氏と共著	『経済学論集』 東京大学経済学会	2002年
3	書評：『「投資銀行」の戦略メカニズム』	単著	『証券アナリストジャーナル』 Vol.39, No.9	2001年
2	銀行危機のニュースと株価の反応	伊藤隆敏氏と共著	『証券経済学会年報』 証券経済学会 Vol.35	2000年
1	ジャパン・プレミアムでみる不良債権問題	単著	『証券レビュー』（財）日本証券経済研究所 Vol.38(8)	1998年

2. 証券化に関する論文

	著書・論文名等	共著者等	出版社・発表誌等	発行年
30	書評：高橋正彦著『証券化と債権譲渡ファイナンス』	単著	『証券アナリストジャーナル』 No6	2016年
29	「国際金融規制一層強化へ（下）過剰対応や形骸化の懸念 長期的な視点不可欠 国際合意への対応柔軟に」	単著	日本経済新聞 経済教室 2015年7月8日	2015年
28	規制強化とマーケットへの影響 —証券化市場とシャドバンキング市場に関して—		金融調査研究会報告書	2014年
27	証券化市場と金融危機後の規制強化	花崎正晴氏、大瀧雅之氏、随清遠氏編著による書	『金融システムと金融規制の経済分析』 けい草書房	2013年

		籍の一章		
26	「証券化市場の誤解を解く」2013年2月	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.51, No2	2013年
25	「証券化と日本の固有性 ～日米証券化市場の比較を通じて～」	単著	『SFI Journal』Vol.6 一般社団法人 流動化・証券化協議会	2012年
24	「証券化に関する誤解を解く～グローバル市場とローカル市場～」	単著	『証券レビュー 第51巻第7号7月』	2011年
23	書評：藤瀬祐司著『証券化ヴィークルの法務と実務』高橋正彦著『証券化の法と経済学 増補新版』	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.48, No.7	2010年
22	書評：高橋正彦著『証券化の法と経済学 増補新版』	単著	『証券経済研究』Vo.69 日本証券経済研究所	2010年
21	新B I S規制の資本市場への影響(下)	単著	『証券レビュー』(財)日本証券経済研究所 Vol.46(11)	2006年
20	新B I S規制の資本市場への影響(上)	単著	『証券レビュー』(財)日本証券経済研究所 Vol.46(10)	2006年
19	派生証券市場・証券化商品市場	共著者多数	『証券市場読本 第二版』第5章 東洋経済	2006年
18	書評：高橋正彦著『証券化の法と経済学』	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.42, No.11	2004年
17	書評：高橋正彦著『証券化の法と経済学』	単著	『証券経済研究』Vol.48 日本証券経済研究所	2004年
16	証券化市場とクレジット・デリバティブ市場：両市場の関連と現状	単著	『証券経済研究』Vol.41 日本証券経済研究所	2003年
15	証券化市場における銀行のプレゼンス	単著	『資産流動化研究』 日本資産流動化研究所	2003年
14	リース業界からみたわが国証券化市場の発展と現状	単著	『LEASE』リース事業協会	2002年
13	市場参加者の効用分析と市場機能の評価	共著者多数	『資産流動化市場の実態分析と将来展望に関する委員会報告書』	2002年
12	証券化関連業務	共著者多数	『金融市場の変貌と証券経営』日本証券経済研究所	2002年
11	資産証券化と銀行貸出態度間の関係、因果関係の分析	単著	『資産流動化研究』 日本資産流動化研究所	2002年
10	金融資産証券化に関する経済分析のサーベイ：経済分析の必要性和役割	単著	『証券経済研究』Vol.34 日本証券経済研究所	2001年
9	金融資産証券化における諸制度の役割：日米比較	単著	『証券経済研究』Vol.32 日本証券経済研究所	2001年
8	証券化の制度比較(2)	単著	『証券レビュー』(財)日本証券経済研究所 Vol.41(3)	2001年
7	金融システムの衰退と証券化の役割	単著	『証券経済研究』Vol.30 日本証券経済研究所	2001年
6	証券化の制度比較(1)	単著	『証券レビュー』(財)日本証券経済研究所 Vol.41(2)	2001年

5	証券化市場総まとめ：1999年度	単著	『証券レビュー』（財）日本証券経済研究所 Vol.40(4)	2000年
4	証券化商品市場	単著	『詳説 現代日本の証券市場』第8章（財）日本証券経済研究所	2000年
3	証券化関連ビジネス	単著	『証券経営のフロンティア』第〇章 清文社	1999年
2	資産証券化の技術的革新性について	単著	『証券レビュー』（財）日本証券経済研究所 Vol.38(2)	1998年
1	わが国の資産証券化の現状	単著	『証券レビュー』（財）日本証券経済研究所 Vol.37(10)	1997年

3. 為替市場の分析

	著書・論文名等	共著者等	出版社・発表誌等	発行年
7	高頻度為替データと為替介入のサーベイ	単著	CGSA フォーラム第9号	2011年
6	News Effects on High Frequency Yen/Dollar Exchange Rate and its Volatility Behavior	渡部敏明氏と共著	Mimeo.	2009年
5	為替市場の変動分析と今後の為替水準について	単著	『証券レビュー』（財）日本証券経済研究所 Vol.48(7)	2008年
4	Effects of the Bank of Japan's Intervention on Yen/Dollar Exchange Rate Volatility	渡部敏明氏と共著	Journal of the Japanese and International Economies, Vol.20(1)	2006年
3	「為替協調介入と円ドル相場、ドル信認問題」	単著	『経済研究』大東文化大学経済研究所	2002年
2	「日本銀行による為替介入効果の検証」	渡部敏明氏と共著	『証券経済学会年報』Vol.36 証券経済学会	2001年
1	「日銀の為替介入は効果があったか」	単著	『証券レビュー』（財）日本証券経済研究所 Vol.40(8)	2000年

4. 資本市場の分析

	著書・論文名等	共著者等	出版社・発表誌等	発行年
11	書評：『資本市場の変貌と証券ビジネス』	単著	日本証券アナリスト協会『証券アナリストジャーナル』	2015年
10	わが国上場投資信託市場の現状と課題：主要国との比較を通じて	単著	信託研究奨励金論集 一般社団法人信託協会	2014年
9	Ownership concentration, agency	Pascal Nguyen	Managerial Finance, forthcoming.	2011年

	conflicts, and dividend policy in Japan	氏と共著		
8	Concentration de l'actionariat et politique de dividendes des entreprises japonaises	Pascal Nguyen	Les territoires dans la mondialisation	2010年
7	Dividend signaling in Context: Evidence from Japan	Pascal Nguyen 氏と共著	<i>Pacific-Basin Finance Journal</i> Vol.13(5)	2005年
6	オンライン VS リテールの構図が消える日—テクノロジーの発展とオンライン取引—	単著	『証券レビュー』（財）日本証券経済研究所 Vol.40(9)	2000年
5	株価に” 興銀効果” は存在したか	単著	『証券レビュー』（財）日本証券経済研究所 Vol.40(2)	2000
4	図表でみる手数料体系（オプション取引委託手数料編）	単著	『証券レビュー』（財）日本証券経済研究所 Vol.39(10)	1999
3	図表でみる手数料体系（株式委託手数料編）	単著	『証券レビュー』（財）日本証券経済研究所 Vol.39(9)	1999
2	Excel でできる株券オプション分析— 2.ブラック＝ショールズ・モデルを使う	単著	『証券レビュー』（財）日本証券経済研究所 Vol.39(2)	1999
1	Excel でできる株券オプション分析— 1.株券オプション取引の概要	単著	『証券レビュー』（財）日本証券経済研究所 Vol.39(1)	1999

5. 金融一般

	著書・論文名等	共著者等	出版社・発表誌等	発行年
26	書評：小巻泰之著『経済データと製作決定 速報値と確定値の間の不確実性を読み解く』	単著	『証券アナリストジャーナル』	2015年
25	書評：岩田一政著『QQE 量的・質的金融緩和 政策の効果とリスクを検証する』	単著	『証券アナリストジャーナル』	2014年
24	書評：『証券論 Securities Markets: History, Logic, and Structure』	単著	『証券アナリストジャーナル』	2014年
23	財政投融资を巡る課題と今後の在り方について	財務省財政投融资総括課、財政投融资分科会 専門委員として関与	財務省	2014年
22	解題：企業成長を支えるリスクマネー	単著	『証券アナリストジャーナル』	2014年
21	ビジネス・モデル再構築は道半ば—「資産管理型営業」の継続を—	福田徹氏と共著	『月刊 金融ジャーナル』2013.1	2013年
20	“WORLD IN CRISIS: Insights from	多数	FIC Press, Wharton Financial	2012年

	Six Shadow Financial Regulatory Committees From Around The World,”		Institutions Center	
19	Japan in the Global Financial Crisis	Takeo Hoshi 氏、Kaoru Hosono 氏、Satoshi Koibuchi 氏、Masaya Sakuragawa 氏と共著	本の1章、出版社はFIC Press	2011年
18	解題：財政リスクを考える	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.49,No.11	2011年
17	書評：『木下信行著『金融行政の現実と理論』,西村吉正著『金融システム改革50年の軌跡』』	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.49,No.10	2011年
16	書評：『残る銀行 沈む銀行』『金融危機とプルーデンス政策』	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.49,No.1	2011年
15	解題：ETF	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.48,No.11	2010年
14	証券業界の変遷と展望 バブル経済期以降の財務データ分析	福田徹氏と共著	『証券アナリストジャーナル』Vol.48,No.5	2010年
13	解題：高頻度データ	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.48,No.1	2010年
12	書評：小川英治編『アジア・ボンドの経済学』	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.47,No.10	2009年
11	書評：ベノワ・マンデルブロ著、高安秀樹他訳『禁断の市場 フラクタルでみるリスクとリターン』	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.46,No.8	2008年
10	書評：(財)東京国際研究クラブ監修『新しい資本市場 商品と組織のイノベーション』	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.46,No.2	2008年
9	書評：岡部光明著『日本企業とM&A』	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.45,No.9	2007年
8	解題：持株会社の企業価値とガバナンス	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.44,No.10	2006年
7	書評：高橋琢磨著『金融はこれからどう変わるのか』	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.44,No.11	2006年
6	解題：証券取引所と市場間競争	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.43,No.11	2005年
5	書評：竹田陽介・小巻泰之・矢嶋康次著『期待形成の異質性とマクロ経済政策』	単著	『証券アナリストジャーナル』Vol.43,No.10	2005年
4	大詰めの政府系機関改革	細野薫氏他4名と	「経済教室」	2005年

	中小金融など廃止せよ	共著	日本経済新聞	
3	郵政民営化法案の修正を	櫻川昌哉氏他5名 と共著	「経済教室」 日本経済新聞	2005年
2	解題：不動産投資	単著	『証券アナリストジャーナル』 Vol.42, No.11	2004年
1	書評：小川一夫著『大不況の経済分析』	単著	『証券アナリストジャーナル』 Vol.41, No.10	2003年

6. その他

	著書・論文名等	共著者等	出版社・発表誌等	発行年
20	日本のワインとワイン産業	単著	『商学論纂』	2014年
19	日本ワインの未来（映像）	監修	中央大学『知の回廊』J-COMにて 放送、現在YouTubeにて公開	2014年
18	Nippon Wine and Domestic Wine	単著	Chuo Online	2013年
17	日本ワインと国産ワイン	単著	中央 Online、読売新聞	2013年
16	"Economic Strategy for Reconstruction" featured in the Nihon Keizai Shimbun	伊藤隆敏氏、鯉淵賢氏	CJEB, Center on Japanese Economy and Business at Columbia Business School ウェブサイトに掲載	2012年
15	「日本ワインの特殊性と展望」	単著	『農中総研 調査と情報 5月号』	2011年
14	「復興への経済戦略 23 食品の安全風評防止に情報公開不可欠」		日本経済新聞 ゼミナール欄 8月19日	2011年
13	ワイン経済学会に参加して	単著	『Sommelier』2011年3月号	2011年
12	解題：団塊世代の退職と資産運用	単著	『証券アナリストジャーナル』 Vol.46, No.10	2008年
11	翻訳：『ビジネス統計学（下）』原著『Complete Business Statistics 6th』	鈴木一功氏、手嶋宣之氏、原郁氏と 共訳	ダイヤモンド社	2007年
10	翻訳：『ビジネス統計学（上）』	鈴木一功氏、手嶋宣之氏、原郁氏と 共訳	ダイヤモンド社	2007年
9	パークシャー・ハザウェイ創業者 ウォーレン・バフェット	共著者多数	『世界の企業家 50人 チャレンジとイノベーション』の1章, 学文社	2004年
8	シャネル創業者 ガブリエル・シャネル	共著者多数	『世界の企業家 50人 チャレンジとイノベーション』の1章, 学文社	2004年
7	解題：会計の改革(その2)	単著	『証券アナリストジャーナル』 Vol.40, No.10	2002年
6	証券化関連業務	共著者多数	『金融市場の変貌と証券経営』日本証券経済研究所	2002年

5	解題：情報化と証券業の変ぼう	単著	『証券アナリストジャーナル』 Vol.39,No.12	2001年
4	『日米証券会社の収益性比較』	共著者多数	証券団体協議会会議グリーンペーパー	2000年
3	『金融がわかる』	共著者多数	AERA ムック 朝日新聞社	2000年
2	東京オフシェア市場の開設と内外金利統合について	単著	『証券経済研究』 Vol.15 日本証券経済研究所	1998年
1	累積債務と資本逃避---資本逃避の経験的実証分析---	単著	『大阪大学経済学』 要旨掲載 大阪大学経済学会	1993年